

退任の挨拶

会長 山下 憲男・幹事 木宮 雅徳

山下 憲男会長

この1年間は世界的に前例のない新型コロナウイルスの中で、世界中のロータリークラブが、また、創立100周年の東京ロータリークラブがニューノーマル(新しい日常)のスタートラインに一斉に並んだ時で、幸か不幸か前例が無く、クラブ自体がリーダーシップを發揮しないとチャンスは来ない変革の年度でもありました。このような時に歴史あるクラブのDNAを引き継ぎながら新たな一步を会員の皆様方と踏み出すことができたことは、理事・役員の皆様そして会長を支えていただいた幹事のお陰であり厚く御礼申し上げます。

本年度の基本方針がコロナ禍の中でどこまで到達できたかという観点で1年を振り返ってみたいと思います。

まずは、CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)のクラブへの導入が完了しました。RIと地区が推奨するクラブ運営で2580地区では既に導入済みの早稲田RC様などの先頭集団にクラブ運営方法では並ぶことができました。若手ビジョン委員会は戦略委員会へ組み込みました。会員規模に応じた理事・役員人数の最適化も図ることができました。次に、新世代会員増強策としての日本のロータリークラブの中では、初めての試みかと思いますがオンライン会員を正会員の位置づけでシンプルな形で細則に盛り込みました。同時にハイブリット例会の定着化が図れたことは、今後の財政の基盤強化の礎と次世代を見据えたクラブ運営がスタートできた年度でもありました。

更に、会長として取り組んだ不易流行(守るもの、改革するもの)の一つとして従来のような例会場でのピアノ演奏は東京ドームホテルでは不可でしたが、電子ピアノに切り替えたりして何とかホテル側に預かってもらうことになりました。この例会でのピアノ生演奏は千代田5クラブ特有の習わしのように、例会場は変わってもお茶の水RCのDNAであるピアノ生演奏は繋ぐことができました。これも歴史的には東京RCから神田RCへ、お茶の水RCへと先人達のロータリークラブへの想いがこもっているのではないかと考えました。新会場を探すにあたり、改めてこれまでのホテルグランドパレス様の格安の例会運営料金とご配慮に、クラブを代表して厚く御礼申し上げます次第でございます。

一方、米山梅吉氏は、ポール・ハリスの“*This Rotarian Age*”を、「ロータリーは結局常識である。拘泥(こうでい:拘る)する所がなく強制する所がない、自由寛容を希求する。ゆえに無邪気を喜び、笑って語るといふのがロータリーの風である。」と。(「国際ロータリーの精神」昭和14年)記されております。この「ロータリーは結局常識である」の資質を持った会員の勧誘が重要と考えております。私は入会以来1年に1名の会員勧誘に努めており、一人目の入会が本年度幹事の木宮さんで4人目が次年度幹事の海江田さん

です。奉仕の精神を持った会員の親睦団体として当クラブが輝き、会員の方が名刺交換時に「おっ!あの!お茶の水ロータリークラブですか?」と呼ばれ、全国の紳士、淑女の方が入会したくなるようなクラブになればと願い、仕組みと仕掛けづくりに工夫した1年間でした。支えていただきました会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

木宮 雅徳幹事

1年間ありがとうございました！この1年は私の人生の中でも大きな変革の1年でした。

① 山下会長年度での大きな変革について

「コロナとの共存」を強いられた1年でした。結果的に「ニューノーマル」な新たなライフスタイルが浸透したとも言えます。リアルなFace to Faceの例会がなかなかできない中で、オンライン例会やハイブリッド例会で、メンバーさんと少しでもコミュニケーションできたことは、良かったと思います。

また、山下会長が創案したオンライン会員が成立したことは、大きな革新でもありました。一方で、クラブ創設時から世話になった例会場である「ホテルグランドパレス」さんと本日でお別れになることが、残念でいっぱいです。

来週からは、東京ドームホテルさんでの例会になりますが、心機一転頑張っていければと思っております。

② 西村会長年度に向けては、相倉さんと一緒にデジタル支援、クラブ奉仕、会員選考などを担当しますが、元気で楽しいクラブの魅力作りやオンライン会員と女性会員の増強をサポートさせていただければと思っております。

また個人的には、この東京お茶の水ロータリークラブに入会したことで、いろんないいことがありました。

私は、出身は和歌山県で浪人や留年もあわせると同年代より6年も遅れて大学を卒業しました。また、大学時代はほとんど大学の講義には出席せず、学生企業やバンドや夜遊びなどしていましたので、卒業して28歳で、神保町で起業するときも、東京にはまったく人脈やコネはありませんでした。

最近同級生が、東大の総長になったみたいですが、彼ともたぶん面識はあるはずなんですけど…まったく記憶がありません（汗）。

そんな中で、山下会長からお声がけいただき、現在の東京お茶の水ロータリークラブの幹事にまでなったことは、大きな自信と千代田区への地元意識も生まれました。メンバーの皆さまに心から感謝致します。

また一方で、2020年2月に意義ある奉仕賞を受賞した「ウォーキング・クリーン・プロジェクト」を再度立ち上げられないかとも思っております。

クラブのキャッチコピーは「千代田から世界に広げよう奉仕の輪」ですので、After コロナでは、ぜひメンバーのみなさんで地元の千代田区から世界に向けていろいろチャレンジしていければと思っております

最後に、できれば2023-24年度の会長幹事が早く決まるといいなと思っております

では、あらためて1年間ありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします！



山下会長、木宮幹事に記念品贈呈



ホテルグランドパレス 最後の例会



2021年6月30日（水）ホテルグランドパレス閉館